

浜松球場解体へ

陸上競技場は再整備

市が方針

浜松市は16日まで、老朽化で再整備を検討している四ツ池公園運動施設(中区)のうち、市営浜松球場は解体して市内の他球場に機能移転する一方、陸上競技場は機能拡充も視野に、公園内で再整備する方針をまとめた。関係者への取材

で分かった。市は市議会特別委員会に提案し、了承を得た上で、年度内の基本方針決定を目指す。

1979年開設の浜松球場(公称2万6千人収容)はプロ野球や高校野球県大会などが開かれてきた。市は同

州灘海浜公園篠原地区(西区)に計画する新球場と、市内に現存する硬式野球場の改修による機能向上を組み合わせたことで機能移転を図る案をまとめた。

ただ、市議会はこれまで新球場の早期整備に慎重姿勢を示した経

81年開設の陸上競技場(同1万人収容)は

ただ、市議会はこれまで新球場の早期整備に慎重姿勢を示した経

第2種競技場だが、陸

上の国際大会やサッカーJリーグなども開催可能な競技場への拡充を望む声もある。同公園内で陸上競技場と浜松球場の両方を建て替えるには敷地が狭すぎるため、市議会特別委の議論も踏まえ、浜松球場の解体と機能移転を目指すことにした。

また、関係者への取材

また、関係者への取材

また、関係者への取材

また、関係者への取材